

第91回日本医療機器学会大会 ランチョンセミナー **2**

LTSF^{*}滅菌に関わる 導入のメリットと 今後の課題について

^{*}低温蒸気ホルムアルデヒド (LTSF)
Low Temperature Steam and Formaldehyde

日 時

平成28年6月24日(金)
12:10～13:00

会 場

第2会場 12F 特別会議場
大阪国際会議場
(グランキューブ大阪)

座 長



南 正人 先生
大阪大学医学部附属病院
手術部 部長 病院教授

講 師



久保田 英雄 先生
東京医科歯科大学医学部附属病院
材料部 副部長

LTSAF滅菌に関わる導入のメリットと今後の課題について

東京医科歯科大学医学部附属病院 材料部 副部長 久保田 英雄 先生

当院では2015年2月より低温蒸気ホルムアルデヒド(LTSF)滅菌器を酸化エチレンガス(EOG)滅菌器と入れ替えて設置し運用を開始した。LTSF滅菌器の導入は、EOG滅菌適用機材がほぼ移行可能であることや特化則に伴う規制がないなど、メリットも多い。一方で、米国では未だにLTSF滅菌が認可を受けていないことにより、米国に拠点を置く医療機器メーカーにおいてLTSF滅菌の適合性情報の不足が見られる。LTSF滅菌導入のメリットと日本での普及における課題について解説して行きたい。

会場のご案内 第2会場 12階 特別会議場
大阪国際会議場 (グランキューブ大阪)
〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51

学会当日参加費 会員：9,000円 非会員：11,000円

ランチョンセミナー入場券のご案内

本会ランチョンセミナーは、入場券制(無料)となります。
配布場所：大阪国際会議場(グランキューブ大阪)大会総合受付横
※入場券は、当日開催分のみ配布いたします。
※入場券は、ランチョンセミナー開始10分後に無効となります。



低温蒸気ホルムアルデヒド(LTSF)滅菌装置

LTSAFE®

エルティーセーフ®

LTSF滅菌

「医療現場における滅菌保証のガイドライン2015」に掲載された低温滅菌法

安全性	密閉型のため特化則の適用を受けない
経済性	過酸化水素法、EOG法と比較して大幅なコスト削減が可能
適合性	耐真空性、耐水性を有する器械はEOGと同様に適合可能
浸透性	低温蒸気的作用により、内腔器械への高い浸透性を示す

LTSAFE®エルティーセーフ®の特徴

- 1 LTSF滅菌に特化した専用設計**
LTSF滅菌専用器として設計されているため、滅菌工程開始までの準備時間が短く、使いたい時にすぐに使用可能
- 2 ダイレクト・インジェクション・システム**
2%のホルマリン溶液を使用し、薬液を希釈することなくチャンバー内に供給するため、濃度が安定し、滅菌工程を短くすることが可能
- 3 RO水設備不要**
標準装備されたRO水製造フィルターにより、クリーンスチームを装置内で発生させる